

(政務活動費用)

(様式1)

出張報告書

令和6年3月29日

釧路市議会議長 畑中 優周 様

会 派 名 創志会

代表者名 松尾 和仁



次のとおり、政務活動費による出張を終えましたので報告します。

受 命 者	松尾 和仁、大越 拓也、藤井 若菜
出 張 先	台北駐日経済文化代表処（東京都）
期 間	令和6年3月28日～令和6年3月29日（2日間）
用 務	台北駐日経済文化代表処 東京分処 表敬訪問
調査（研修） 結果等の概要	別紙参照
備 考	

- 注） 1 資料等がある場合、添付すること。資料は、事務局経由で会派へ返却するので、本出張報告書（原本）とともに会派で保管すること。
- 2 調査結果等の概要は、別紙による記載も認める。

3月28日17時、釧路市議会日台友好促進議員連盟の大越拓也会長を含む議員らが東京の白金台にある台北駐日経済文化代表処を訪れ、周學佑副代表、林雍凱政務部次長、林彥廷政務部三等秘書を表敬訪問した。同行したのは畑中優周、松尾和仁、岡田遼、金安潤子、藤井若菜、計5人の議員。

今回の訪問は釧路市議会日台友好促進議員連盟かねてよりの悲願であった台湾への修学旅行実現を祝い合うと共に、周副代表と札幌分処の粘信士処長の釧路訪問依頼。具体的には年内に周副代表による釧路北陽高校での基調講演およびフォーラムの開催を依頼し、前向きな回答をいただいた。

釧路市議会日台友好促進議員連盟は全道に先駆けて2014年に設立。3年前となる11年には釧路日台親善協会が設立されている。台湾からの観光客が増えていた背景があり、台湾とのより一層の友好と交流を目指すもの。釧路市議とは周副代表が札幌分処長時代から交流が続いている。今後の釧路と台湾の展開としては

- ・釧路北陽高校の台北市の私立景文高級中学校との交流を含む修学旅行
- ・私立景文高級中学校からのホームステイ
- ・台湾市内小学校の合唱イベント参加

を予定。この他、釧路との関わりを周副代表が振り返っていた。

全国と台湾との交流も紹介があり、

- ・世論調査による台湾国内で人気の旅行先第一位が日本だということ
- ・日本国内でアジアで最も親近感のある国第一位が台湾だということ
- ・台湾からの観光客のピークは2019年の495万人。2023年はコロナによる水際対策の緩和もあり年480万人が日本を訪れていること
- ・熊本県のTSMC（台湾85%、日本企業15%が出資）設立に伴い、30～40社の関連企業も日本進出予定であること。そのため、2000人をカバーできる私立の中華学校も設立予定。経済効果は20兆円以上だということ、について話した。



表敬訪問に伴い、釧路市役所東京オフィス、全国市議会議長会も訪問。全国市議会議長会は千代田区の全国都市会館の6階に位置し、2023年から全国副議長に就任した畑中優周議員も今期からここで会議などに参画している。釧路市役所東京オフィスは千代田区の日本都市センター会館9階に位置し、多くの自治体がオフィスを構える。道内行政は苫小牧市など2市町。同フロアには新潟市、豊橋市、仙台市、熊本市、千葉市が並ぶ。2名体制なのは釧路市のみで、5，6人体制で業務を行う部屋が多い印象だが、釧路市と同じ人口規模の行政は1人体制が一般的。主に議員会館を訪れ、国の動向に関わる情報収集、東京出張の市長補佐、東京のイベントに出展する地元企業のサポートなどを行う。そのため、基本的にはオフィスは不在であることも少なくない。



【出席者】大越拓也、畑中優周、松尾和仁、岡田遼、金安潤子、藤井若菜（敬称略）